

平成21年9月・10月の催事予定

平成21年 8月 7日
東北歴史博物館

*秋の特別展のご案内…9月から開催 東北歴史博物館開館10周年記念特別展 「東北の群像—みちのく祈りの名宝—」

- 概要** 東北の地では、原始以来その地理的条件や気候・風土に育まれながら、特色ある歴史・文化が生まれてきました。「辺境の地」とよばれることもあった、この東北の歴史・文化をたどることは、逆に日本の歴史の多様性を明らかにすることであり、日本文化の奥深さ・豊かさを知ることには他なりません。
このように長い歴史の中で、東北の人々によるさまざまな営みや他の地域との人や物の交流によって生み出された文物は、今でも数多く残されています。
本展は、そのような東北ゆかりの文物のうち、人々の祈り・信仰に関わる名宝を一堂に会し、それぞれの分野や時代など様々な角度から、祈り・信仰を中心とした東北の歴史・文化を浮き彫りにして、東北の歴史群像を描こうとするものです。
- 日時** 9月19日(土)～11月1日(日)
午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)
※休館日：9月21日と10月12日を除く毎週月曜日、
9月24日(木)、10月13日(火)
- 場所** 東北歴史博物館 特別展示室(多賀城市高崎1-22-1)
- 展示予定資料** 国宝・重要文化財を中心とした約290点
(※詳細は<別紙1>のとおり)
- 観覧料** 一般 1,000(900)円、シルバー 900(800)円、
高校生 500(400)円、小・中学生 300(200)円
※()内は20名様以上の団体料金。
※この観覧料で常設展示もご覧いただけます。
※シルバー料金は、昭和19年12月31日以前に生まれた方が対象。
※8月10日(月)～9月18日(金)まで**前売券**を販売します。
料金：一般・シルバー 800円
販売箇所：藤崎、三越仙台店、
東北歴史博物館ミュージアムショップ
- 関連企画** 記念講演会、特別展示解説、民俗芸能実演などを予定。
(※詳細は<別紙2>のとおり)

<博物館からのお知らせ>

9月の休館日…7日・14日・28日の各月曜日と24日(木曜日)
10月の休館日…5日・19日・26日の各月曜日13日(火曜日)
11月の休館日…2日・9日・16日・30日の各月曜日と24日(火曜日)

常設展無料観覧日… 9月21日(月・祝 ※敬老の日)
10月10日(土 ※秋の博物館イベント)
11月3日(火・祝 ※文化の日)

なお、上記の内容については、事情により変更になる場合があります。

東北歴史博物館 管理部情報サービス班
〒985-0862 多賀城市高崎1-22-1
(電話) 022-368-0106
(FAX) 022-368-0103
(E-mail) thm-service@pref.miyagi.jp

「東北の群像～みちのく祈りの名宝～」展示構成および展示予定資料

第I章 縄文の精華 [考古分野]

洗練され華麗な造形美を持つ亀ヶ岡式土器や深い神秘性をまとう遮光器土偶などに代表される亀ヶ岡文化の優品を中心に、縄文文化の担い手たちの豊かな感性と高い工芸技術、そしてその底流をなす精神世界を紹介します。

第1節 亀ヶ岡文化への扉

遮光器土偶 (大芦I遺跡、岩手県教育委員会)

重文 赤漆塗り壺形土器 (是川中居遺跡、八戸市縄文学習館)

重文 朱塗り台付浅鉢形土器 (沼津貝塚、東北大学大学院文学研究科)

第2節 亀ヶ岡式土器の世界

重文 壺形土器 (是川中居遺跡、八戸市縄文学習館)

重文 皿形土器 (同上)

市指定 魚籠状壺形土器 (山王団遺跡、栗原市教育委員会)

第3節 祈りの風景

市指定 遮光器土偶 (野口貝塚、三沢市教育委員会)

県指定 岩偶 (白坂遺跡、北秋田市教育委員会)

重文 岩版 (網場貝塚、個人)

県指定 土製仮面 (二枚橋(2)遺跡、むつ市教育委員会)

重文 土製耳飾り (是川中居遺跡、八戸市縄文学習館)

重文 鹿角製装飾品 (沼津貝塚、東北大学大学院文学研究科)

有孔石製品 (翡翠) (泉山遺跡、青森県埋蔵文化財調査センター)

第II章 古代の薬師・観音信仰 [美術工芸分野]

薬師如来及び観音菩薩は仏菩薩のなかで、人々に寄り添う最も身近な存在として絶大な信仰を集めました。なかでも東北地方は他地域に比べ薬師・観音信仰がことのほか篤く、奈良時代や平安時代といった古代の優品も多く伝わります。本章では、これら薬師・観音像の優品から、古代東北地方の信仰の諸相を紹介します。

第1節 金銅仏

県指定 金銅聖観音菩薩立像 (聖福寺 [青森県おいらせ町])

県指定 銅造聖観音菩薩立像 (正伝寺 [秋田県横手市])

第2節 木彫仏

重文 木造聖観音菩薩立像 (勝常寺 [福島県湯川村])

重文ほか木造薬師如来坐像、日光・月光菩薩立像、二天王立像 (薬師五尊像)
(双林寺 [宮城県栗原市])

県指定 木造聖観音菩薩立像 [双林寺旧仏] (瑞光寺 [新潟市])

第3節 鏡像・御正躰

国宝 線刻千手観音等鏡像 (水神社 [秋田県大仙市])

重文 金銅聖観音菩薩坐像御正躰 (高館那智神社 [宮城県名取市])

第Ⅲ章 武家と信仰 [歴史分野]

中世・近世の日本において、政治から文化に至るまで、社会の中で大きな役割を果たした武家。ここ東北にも、武家の足跡が数多く残されています。本章では、東北の武家が残した足跡を信仰に関わる名宝を中心にたどり、武家の活動や精神世界、その地域とのつながりを紹介します。

第1節 鎌倉以来の武家と寺社

◇南部氏と櫛引八幡宮

重文 白糸威肩赤胴丸 (櫛引八幡宮 [青森県八戸市])

県指定 鰐口 [応永十一年銘、伝南部守行奉納] (同上)

第2節 近世大名の祖先祭祀

◇上杉氏と御堂一謙信公を祀る一

国宝 上杉家文書 (米沢市上杉博物館)

泥足毘沙門天立像 (上杉謙信守本尊) (法音寺 [山形県米沢市])

両界曼荼羅 (室町時代、御堂内奉懸) (同上)

県指定 金銅五鈷鈴 (善光寺如来附属仏具) (同上)

松岬城堞図 (市立米沢図書館)

旗「毘」 (個人蔵)

第3節 近世大名と領内寺社

◇伊達氏と領内の寺社

重文 瑞巖寺本堂障壁画 (瑞巖寺)

重文 太刀銘 来国光 [鎌倉時代] (鹽竈神社)

重文 太刀銘 備州長船住義光 建武四年十二月 (亀岡八幡宮)

第Ⅳ章 信仰と芸能 [民俗分野]

東北地方にみられる信仰活動には、江戸時代の修験者が関わっていることが多くあります。本章では、こうした修験者が関わって生み出され、今に伝えられる芸能や祈祷などの活動について、その所用具を中心に紹介します。

第1節 民俗芸能の面

県指定 能舞面「翁」 (青森県東通村)

市指定 山谷番楽面「姥」 (生面神社 [秋田市])

三輪流神楽面「尉」 (薬菜神社 [宮城県加美町])

第2節 獅子頭の信仰

県指定 獅子頭 [室町時代末] (唐松山天日宮 [秋田県大仙市])

県指定 獅子頭 (西馬内御嶽神社 [秋田県羽後町])

県指定 権現さま [文明十一(1479)年] (丹内社 [岩手県久慈市])

第3節 生活と祈り

県指定 牛玉宝印版木 [文保二(1318)年] (新宮熊野神社 [福島県喜多方市])

熊野本地絵巻 (青森県東通村)

※展示構成および展示予定資料は変更になる場合があります。

<別紙2>

**東北歴史博物館開館10周年記念特別展「東北の群像～みちのく祈りの名宝～」
関連行事一覧（概要）**

2009.8.7現在

(1) 講演会

日時：10月4日（日） 13:30～15:00

場所：当館3階講堂

講師：大矢邦宣氏（盛岡大学教授・平泉文化遺産センター館長）

演題：「祈りの名宝にみる『みちのくの心』」

(2) 特別展示解説

日時：期間中の毎週日曜日及び9月23日（水・祝）

各回11:00～（1時間程度）

場所：特別展示室（特別展観覧券が必要です）

(3) 民俗芸能上演会

日時：9月19日（土）

(4) 民俗芸能交流会

日時：10月25日（日）

(5) 雅楽と声明の調べ

日時：9月27日（日）

(6) 学芸員とともに宮城の文化遺産を学ぶプログラム（要事前申込）

*宮城県内の文化財およびその関連施設を巡ります。

◆11月23日（月・祝）〔事前学習会：10月17日（土）〕

①仏教文化コース（定員25名）

②近代化遺産コース（定員25名）

◆11月29日（日）〔事前学習会：10月31日（土）〕

③縄文・亀ヶ岡文化コース（定員25名）

④伊達家ゆかりの塩竈・松島コース（定員25名）

募集期間：9月7日（月）～10月2日（金）

参加費：施設入館料、旅行保険代など

応募方法など詳細についてはお問い合わせください。